

山本二三丸教授略歴

大正二年 三月十日 豊橋市にて出生

学 歴

大正 十四年 三月 第二東京市立中学校入学

昭和 四年 三月 同校第四学年修了

昭和 四年 四月 第一高等学校文科丙類入学

昭和 八年 三月 同校卒業

昭和 八年 四月 東京帝国大学経済学部経済学科入学

昭和 十一年 三月 同大学同学部同学科卒業

学 位

昭和 二十九年 二月 経済学博士

職 歴

- 昭和十一年 四月 東京貯蓄銀行書記
昭和十三年 五月 同行退職
昭和十三年 九月 東亜研究所々員
昭和十五年 六月 同研究所退職
昭和十五年 七月 日本鉄鋼連合会書記
昭和十六年 四月 鉄鋼統制会書記
昭和十六年 七月 同統制会退職
昭和十六年 八月 日本鋼管株式会社書記（調査部勤務）
昭和十七年 三月 立教大学経済学部講師（兼任）
昭和二十年十二月 日本鋼管株式会社退職
昭和二十一年 一月 立教大学アメリカ研究所々員
昭和二十一年 四月 立教大学経済学部助教授
昭和二十三年 四月 同大学教授
昭和五十三年 三月 定年制の規定に依り立教大学教授退職
昭和五十三年十一月 立教大学名誉教授

山本二三丸教授研究業績

著書及び翻訳書

著書

恐慌論研究

再生産論研究

労働賃銀

価値論研究

現代資本主義の経済法則

増補恐慌論研究

構造改革論批判

経済学概論

共著

資本論講座(第一分冊)

昭和二五年 六月 青木書店

昭和三一年 八月 日本評論社

昭和三五年一月 青木書店

昭和三七年 六月 青木書店

昭和三七年 七月 青木書店

昭和四〇年 四月 青木書店

昭和四一年 四月 青木書店

昭和四七年 三月 青木書店

昭和三八年一月 青木書店

資本論講座(第三分冊)

昭和三九年 三月 青木書店

翻訳書

マルクス金融論Ⅰ(共訳)
空想から科学へ(エンゲルス著)(共訳)

昭和二四年 四月 青木書店
昭和二八年 一月 大月書店

学術論文(書評を含む)

アメリカ資本主義を貫くもの
米国の世界経済政策(座談会記録)
虚偽の価値論(一)
虚偽の価値論(二)
迫り来る恐慌、経済学はいかに答えるか
再生産表式と恐慌との関連について
社会主義経済学と価値法則
数学的に歪められた価値論
いわゆる「価値法則」について

昭和二一年 六月 『人民評論』第六号
昭和二二年 七月 『世界評論』第五号
昭和二四年 三月 『大学新聞』第一号
昭和二四年 四月 『大学新聞』第二号
昭和二四年 七月 『一橋新聞』
No.422
昭和二四年 七月 『社会科学』第一号
昭和二四年 七月 季刊『理論』第九号
昭和二四年 八月 『経済評論』第四卷八号
昭和二四年一月 『経済学研究』第三集

- P・M・スティージャーによる恐慌の把握
 労働および生産に関する基本的考察(一)
 ——経済学の対象の規定——
 労働および生産に関する基本的考察(二)
 ——経済学の対象の規定
- 均衡論の反科学性(一)、(二)、(三)
 経済学の方法と大衆化
 ——第三貧乏物語をめぐって——
- 経済法則について
 ——価値法則論を中心として——
- 等価交換論
 ——価値法則論を中心として——
- いわゆる「労働配分決定の法則」について
 ——価値法則論を中心として——
- マルクスの「近代的解釈」
 ——P・M・スティージャーの『資本主義発展の理論』——
- 商品
 社会的総資本の再生産と流通
 交換価値と価値
 資本蓄積論の課題
- 昭和二五年 六月 『経済学』第2号
 昭和二五年 一月 『愛知大学法経論集』第二集
 昭和二六年 五月 『愛知大学法経論集』第三集
 昭和二五年 二月 『東大学生新聞』 No.68
 昭和二六年 一月 『三田新聞』 No.69
 No.653
 昭和二五年 一月 『立教経済学研究』第四卷一号
 昭和二六年 三月 『立教経済学研究』第四卷二号
 昭和二六年 七月 『立教経済学研究』第五卷一号
 昭和二六年 九月 『東大学生新聞』 No.90
 昭和二六年 九月 講座『資本論の解明』第一分冊
 昭和二七年 三月 講座『資本論の解明』第三分冊
 昭和二七年 二月 『立教経済学研究』第五卷二号
 昭和二八年 一月 『経済研究』第四卷一号

市場価格と市場価値

市場価格と市場価値(二)

市場価格と市場価値(三)

市場価格と市場価値(四)

市場価格と市場価値(五)

市場価格と市場価値(完)

宇野弘蔵著『恐慌論』

恐慌論はいかに發展せしむべきか

再生産論の課題

——いわゆる市場理論の批判——

再生産論の課題

——いわゆる市場理論の批判——(二)

資本主義の基本的矛盾についての簡単な考察

資本主義の基本的矛盾についての簡単な考察(完)

再生産論

貨幣理論の根本問題

恐慌論の基本問題(報告)

国際的労作の評価と取扱方について

昭和二八年 三月 『立教経済学研究』第六卷二号

昭和二八年一〇月 『立教経済学研究』第七卷一号

昭和二九年 三月 『立教経済学研究』第七卷二号

昭和二九年一〇月 『立教経済学研究』第八卷一号

昭和三一年一月 『立教経済学研究』第十卷二号

昭和三二年 六月 『立教経済学研究』第十一卷一号

昭和二八年一二月 『思想』第三五四号

昭和二九年 三月 『経済評論』第三卷三号

昭和二九年 九月 『愛知大学法経論集』第十集

昭和三〇年 三月 『愛知大学法経論集』第十一集

昭和二九年一二月 『立教経済学研究』第八卷二号

昭和三〇年 五月 『立教経済学研究』第九卷一号

昭和三一年 一月 『立教経済学研究』第九卷二号

昭和三一年一月 『愛知大学十周年記念論文集』

昭和三一年一月 経済学史学会第十四回大会

昭和三一年一月 『世界経済』第三号

独占と最大限利潤法則

貨幣理論の根本問題 (一)

「平均利潤法則」と「最大限利潤法則」

昭和三二年一〇月 『經濟評論』第六卷十号
昭和三二年一〇月 『愛知大学法経論集』第二十集

「平均利潤法則」と「最大限利潤法則」 (二)

昭和三三年二月 『立教経済学研究』第十一卷二号

「平均利潤法則」と「最大限利潤法則」 (三)

昭和三三年六月 『立教経済学研究』第十二卷一号

「平均利潤法則」と「最大限利潤法則」 (完)

昭和三三年一〇月 『立教経済学研究』第十二卷二号

現代資本主義論の性格

昭和三三年一月 『經濟評論』第七卷十二号

科学的經濟理論の意義について

昭和三四年一月 『愛知大学法経論集』第二十五集

講座『恐慌論』に対するコメント

昭和三四年一月 『經濟研究』第十卷一号

科学的經濟理論の創造的發展について

昭和三四年三月 『立教経済学研究』第十二卷四号

科学的經濟理論の創造的發展について (一)

昭和三四年六月 『立教経済学研究』第十三卷一号

科学的經濟理論の創造的發展について (二)

昭和三四年一月 『立教経済学研究』第十三卷二号

科学的經濟理論の創造的發展について (三)

昭和三四年二月 『立教経済学研究』第十三卷三号

科学的經濟理論の創造的發展について (四)

昭和三五年六月 『立教経済学研究』第十四卷一号

科学的經濟理論の創造的發展について (五)

昭和三五年一〇月 『立教経済学研究』第十四卷二号

勞賃論の根本問題

昭和三五年二月 『立教経済学研究』第十三卷四号

- 人間の労働の経済学的考察(一)
 人間の労働の経済学的考察(二)
 人間の労働の経済学的考察(三)
 人間の労働の経済学的考察(四)
 人間の労働の経済学的考察(五)
 人間の労働の経済学的考察(六)
 人間の労働の経済学的考察(七)
 人間の労働の経済学的考察(八)
 人間の労働の経済学的考察(九)
 人間の労働の経済学的考察(十)
 賃銀論はいかにあるべきか(前編)
 ——修正主義的諸偏向の克服のために——
 賃銀論はいかにあるべきか(後編)
 ——修正主義的諸偏向の克服のために——
 最近の賃銀論(書評)
 帝国主義と恐慌
 世界経済論の対象と方法について
 「帝国主義論」と世界経済

- 昭和三六年 二月 『立教経済学研究』第十四卷四号
 昭和三六年 二月 『立教経済学研究』第十五卷三号
 昭和三七年 二月 『立教経済学研究』第十五卷四号
 昭和三七年 五月 『立教経済学研究』第十六卷一号
 昭和三七年 七月 『立教経済学研究』第十六卷二号
 昭和三七年 一月 『立教経済学研究』第十六卷三号
 昭和五〇年 五月 『立教経済学研究』第二十九卷一号
 昭和五〇年 七月 『立教経済学研究』第二十九卷二号
 昭和五〇年 二月 『立教経済学研究』第二十九卷四号
 昭和五一年 二月 『立教経済学研究』第二十九卷四号
 昭和三六年 六月 『立教経済学研究』第十五卷一号
 昭和三六年 一〇月 『立教経済学研究』第十五卷二号
 昭和三七年 三月 『図書新聞』第646号
 昭和三七年 九月 『思想』第四五九号
 昭和三七年 一〇月 『愛知大学法経論集』第四十集
 昭和三八年 一月 『愛知大学法経論集』第四十一集

- 「国際経済」と「世界経済」
- 昭和三八年 六月 『愛知大学法経論集』第四十二集
- 「国際経済」と「世界経済」(完)
- 昭和三八年 一月 『愛知大学法経論集』第四十三集
- いわゆる「構造改革論」の理論的性格
- 昭和三八年 二月 『立教経済学研究』第十六卷四号
- いわゆる「構造改革論」の理論的性格(一)
- 昭和三八年 六月 『立教経済学研究』第十七卷一号
- いわゆる「構造改革論」の理論的性格(二)
- 昭和三八年 七月 『立教経済学研究』第十七卷二号
- いわゆる「構造改革論」の理論的性格(三)
- 昭和三九年 二月 『立教経済学研究』第十七卷四号
- いわゆる「構造改革論」の理論的性格(四)
- 昭和三九年 六月 『立教経済学研究』第十八卷一号
- いわゆる「構造改革論」の理論的性格(五)
- 昭和三九年 八月 『立教経済学研究』第十八卷二号
- いわゆる「構造改革論」の理論的性格(六)
- 昭和四〇年 二月 『立教経済学研究』第十八卷四号
- いわゆる「構造改革論」の理論的性格(七)
- 昭和四〇年 五月 『立教経済学研究』第十九卷一号
- いわゆる「構造改革論」の理論的性格(八)
- 昭和四〇年 九月 『立教経済学研究』第十九卷二号
- いわゆる「構造改革論」の理論的性格(九)
- 正しい批判は何かあるべきか(一)
- 昭和四二年 五月 『立教経済学研究』第二十一卷一号
- 教条主義批判を装った修正主義 ——
- 正しい批判は何かあるべきか(二)
- 昭和四二年 七月 『立教経済学研究』第二十一卷二号
- 教条主義批判を装った修正主義 ——
- 正しい批判は何かあるべきか(三)
- 昭和四二年 二月 『立教経済学研究』第二十一卷三号
- 教条主義批判を装った修正主義 ——
- 正しい批判は何かあるべきか(四)
- 昭和四三年 一月 『立教経済学研究』第二十一卷四号
- 教条主義批判を装った修正主義 ——

- 正しい批判はいかにあるべきか(五)
—— 教条主義批判を装った修正主義 ——
昭和四三年 五月 『立教経済学研究』第二十二卷一号
- 正しい批判はいかにあるべきか(六)
—— 教条主義批判を装った修正主義 ——
昭和四三年二月 『立教経済学研究』第二十二卷三号
- 正しい批判はいかにあるべきか(七)
—— 教条主義批判を装った修正主義 ——
昭和四四年 二月 『立教経済学研究』第二十二卷四号
- 正しい批判はいかにあるべきか(八)
—— 教条主義批判を装った修正主義 ——
昭和四四年 五月 『立教経済学研究』第二十三卷一号
- 正しい批判はいかにあるべきか(九)
—— 教条主義批判を装った修正主義 ——
昭和四四年 七月 『立教経済学研究』第二十三卷二号
- 正しい批判はいかにあるべきか(十)
—— 教条主義批判を装った修正主義 ——
昭和四四年一二月 『立教経済学研究』第二十三卷三号
- 正しい批判はいかにあるべきか(十一)
—— 教条主義批判を装った修正主義 ——
昭和四五年 一月 『立教経済学研究』第二十三卷四号
- 正しい批判はいかにあるべきか(完)
—— 教条主義批判を装った修正主義 ——
昭和四五年 五月 『立教経済学研究』第二十四卷一号
- 経済学における「形態規定」とはなにか(一)
—— いわゆる「宇野理論」の性格規定 ——
昭和四五年 八月 『立教経済学研究』第二十四卷二号
- 経済学における「形態規定」とはなにか(二)
—— いわゆる「宇野理論」の性格規定 ——
昭和四五年十二月 『立教経済学研究』第二十四卷三号
- 経済と政治との関連の問題(一)
—— いわゆる「トロツキズム」の性格規定 ——
昭和四六年 一月 『立教経済学研究』第二十四卷四号

- 経済と政治との関連の問題(二) — いわゆる「トロツキズム」 — の性格規定 — 昭和四六年 五月 『立教経済学研究』第二十五卷一号
- 経済と政治との関連の問題(三) — いわゆる「トロツキズム」 — の性格規定 — 昭和四六年 七月 『立教経済学研究』第二十五卷二号
- 経済と政治との関連の問題(四) — いわゆる「トロツキズム」 — の性格規定 — 昭和四六年一月 『立教経済学研究』第二十五卷三号
- 経済と政治との関連の問題(五) — いわゆる「トロツキズム」 — の性格規定 — 昭和四七年 二月 『立教経済学研究』第二十五卷四号
- 経済と政治との関連の問題(六) — いわゆる「トロツキズム」 — の性格規定 — 昭和四七年 五月 『立教経済学研究』第二十六卷一号
- 経済と政治との関連の問題(七) — いわゆる「トロツキズム」 — の性格規定 — 昭和四七年 七月 『立教経済学研究』第二十六卷二号
- 経済と政治との関連の問題(八) — いわゆる「トロツキズム」 — の性格規定 — 昭和四七年十二月 『立教経済学研究』第二十六卷三号
- 経済と政治との関連の問題(九) — いわゆる「トロツキズム」 — の性格規定 — 昭和四八年 二月 『立教経済学研究』第二十六卷四号
- 経済と政治との関連の問題(十) — いわゆる「トロツキズム」 — の性格規定 — 昭和四八年 五月 『立教経済学研究』第二十七卷一号
- 経済と政治との関連の問題(十一) — いわゆる「トロツキズム」 — の性格規定 — 昭和四八年 七月 『立教経済学研究』第二十七卷二号
- 経済と政治との関連の問題(十二) — いわゆる「トロツキズム」 — の性格規定 — 昭和四八年一月 『立教経済学研究』第二十七卷三号

- 経済と政治との関連の問題(十三)
 ——いわゆる「トロツキズム」の性格規定——
 昭和四九年 二月 『立教経済学研究』第二十七卷四号
- 経済と政治との関連の問題(十四)
 ——いわゆる「トロツキズム」の性格規定——
 昭和四九年 五月 『立教経済学研究』第二十八卷一号
- 経済と政治との関連の問題(完)
 ——いわゆる「トロツキズム」の性格規定——
 昭和四九年 七月 『立教経済学研究』第二十八卷二号
- 大きな実用主義とちっぽけな真理
 貨幣の範疇規定について(一)
 昭和四九年 二月 『立教経済学研究』第二十八卷三・四合併号
- 貨幣の範疇規定について(二)
 昭和五二年 七月 『立教経済学研究』第三十一卷一号
- 貨幣の範疇規定について(三)
 昭和五二年 九月 『立教経済学研究』第三十一卷二号
- 過渡期の経済法則の考察(一)
 昭和五三年 二月 『立教経済学研究』第三十一卷四号
- 過渡期の経済法則の考察(二)
 昭和五三年 七月 『立教経済学研究』第三十二卷一号
- 過渡期の経済法則の考察(三)
 昭和五三年 十月 『立教経済学研究』第三十二卷二号